

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト

オホーツク連携地域

【概要・目的】

大規模で生産性の高い畑作や酪農、国内有数の生産力を誇るホタテ・サケの栽培漁業、国内最大の森林認証取得エリアなどを背景に、オホーツクの農林水産業は全道でも有数の生産額を誇っており、今後とも地域の基幹産業として発展していく必要があります。

このため、高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、海外を含めた販路拡大などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図ります。

【施策展開】

前年度の主な取組実績（平成28年度）

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- ・スマート農業技術の導入や作業の外部委託、組織化による省力化等の推進のための普及啓発セミナーの実施（振興局）
- ・ほたてがい漁場の管理を目的とした、ハザードマップ作成に向けたデータ収集や各種調査の実施（漁協）

■ 担い手の育成・確保

- ・東京農業大学との連携による林業インターンシップの実施（道・教育機関・森林組合・民間）
- ・女性農業者の経営参画を促進するため農業女性ステップアップ事業の実施（3カ所）（振興局・その他）

■ 良質な農水産物の販路拡大

- ・オホーツク管内の農業協同組合に対する輸出実態調査の実施（振興局）
- ・サケの陸揚実態調査の実施（振興局）

■ オホーツク産森林認証等の利用促進

- ・東京で開催された「JapanHome&BuildingShow」に出展しオホーツク産森林認証材のPR（道・市町村・民間）
- ・木育マイスターと連携したイベントの協働実施や教育機関と連携した森林学習の実施による木育の普及啓発（道・市町村・民間）

今年度の主な取組（平成29年度）

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- ・スマート農業技術の導入や省力化等の推進に向けた「オホーツク・スマート農業セミナー2017」の開催（振興局）
- ・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種「コナユタカ」の一般栽培の定着化に向けた普及センターによる濃密指導の実施（振興局）
- ・ほたてがい漁場の底質改善に係る支援制度等の情報提供やハザードマップの作成に向けた各種調査等の継続実施（振興局・民間）

■ 担い手の育成・確保

- ・東京農業大学・北見工業大学との連携による林業インターンシップの実施（道・教育機関・森林組合・民間）
- ・農村女性の活躍推進に向けた「オホーツク農村女性のひろば」の開催（振興局・その他）

■ 良質な農水産物の販路拡大

- ・農畜産物の輸出拡大を図るため、「農畜産物輸出セミナー」「個別相談会」を開催（振興局）
- ・管内水産加工業者へのEU輸出に係る意向調査の実施（振興局）

■ オホーツク産森林認証等の利用促進

- ・「WOODコレクション（モクコレ）」に出展し、首都圏の需要者に対してオホーツク産森林認証材をPR（道・市町村・民間）
- ・「親子で楽しむ3育ツアー」「オホーツクウッドクラフトフェスティバル」の開催による木育活動の推進（道・市町村・民間）

今後の取組を進める上での主な課題

- スマート農業の実践に向けた生産者の理解向上
- ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の本格導入に向けた種馬鈴しょの確保と栽培マニュアルによる普及・指導
- 基盤整備に必要な継続的な予算の確保
- ほたてがいの生産性向上を図るため漁場の底質改善の継続
- 人材育成・確保に向けた地域の高校生を対象とした新たな取組の展開
- 農業女性の活躍推進のための活動機会の創出
- 農業協同組合等、管内団体による輸出の取組の促進
- サケのEU-HACCP取得に向けた、EU基準に適した陸揚げ体制の構築
- オホーツク産森林認証材の利用促進に向けたブランド化の推進
- 食育活動等と連携した木育活動の展開

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト

オホーツク連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- ・農作物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備（振興局）
- ・施業の集約化による間伐・路網整備・主伐後の再造林等の推進や森林整備に関する普及・啓発による計画的な森林施業の促進（道・市町村・森林組合・民間）
- ・ほ場の生産性を向上させる技術の実用化事例や先駆的な現地事例など、生産者に対する情報発信（振興局）
- ・新品種「コナユタカ」の一般農家での栽培開始にともなう、栽培マニュアルを活用した開花期の適正施肥の重点的指導（振興局）
- ・災害に強いほたてがい漁場整備のための漁場移設やハザードマップの作成（振興局）

■ 担い手の育成・確保

- ・オホーツク地域林業担い手確保推進部会による担い手育成・確保に向けた意見交換会の実施や林業インターンシップの継続（道・教育機関・森林組合・民間等）
- ・女性農業者の経営参画を促進するための、農業女性ステップアップ事業の継続実施（振興局・その他）
- ・就農促進に向け農業高校生を対象とした出前授業の実施（振興局・その他）

■ 良質な農水産物の販路拡大

- ・加工品を含む農畜産物の輸出拡大を目的とした「輸出セミナー」や「個別相談会」の開催（振興局）
- ・地産地消の促進を目的とした、パネル展や食育イベントの開催による食育の推進（振興局）
- ・サケのEU-HACCP対応漁港拡大に向けた、漁協への周知協力依頼（振興局）

■ オホーツク産森林認証等の利用促進

- ・地材地消の推進に向けた関係者の情報共有体制の整備によるスムーズな地域材活用スタイルの構築（振興局）
- ・関係団体と連携した、首都圏の需要者に対するオホーツク産森林認証材のPRの実施（道・市町村・民間等）
- ・食育・子育てと連携した「3育ツアー」や木育マイスターと連携したイベントの実施による木育の普及啓発（振興局・市町村・民間）

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト

オホーツク連携地域

【KPIの状況】

	基準値 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	H32(目標年)
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	(H27)	25% 〈進捗率〉63%	30% 〈進捗率〉75%				40%
衛生管理型漁港の整備	(H27)	4港 〈進捗率〉80%	4港 〈進捗率〉80%	4港 〈進捗率〉80%			5港
インターンシップ実施事業者数	0事業者 (H26)	0事業者 〈進捗率〉0%	0事業者 〈進捗率〉0%	24事業者 〈進捗率〉133%			18事業者
輸出に取り組む農業者団体数	3団体 (H25)	3団体 〈進捗率〉38%	7団体 〈進捗率〉88%	7団体 〈進捗率〉88%		8団体	
サケEU-HACCP取得業者数	1団体 (H26)	1団体 〈進捗率〉25%	1団体 〈進捗率〉25%	1団体 〈進捗率〉25%		4団体	
網走東部流域における森林伐採面積以上の造林面積の確保(造林面積/伐採面積 \geq 1)	0.64 (H26)	0.72 〈進捗率〉72%	0.60 〈進捗率〉60%	0.66 〈進捗率〉66%			1.00
建築材等の出荷量	55.6千 m^3 (H26)	50.7千 m^3 〈進捗率〉80%	52.7千 m^3 〈進捗率〉83%				63.4千 m^3
地域住民との協働による森林づくり参加者数	11,000人 (H26)	10,425人 〈進捗率〉81%	11,948人 〈進捗率〉93%	9,073人 〈進捗率〉71%			12,800人

豊富な農水産物を活かした食関連産業振興プロジェクト

オホーツク連携地域

【概要・目的】

オホーツクは豊富で良質な農水産物を活用した食品工業が主要産業であり、食料品の出荷額は14(総合)振興局の中で3位となっていますが、食品工業付加価値率は19.3%で全道平均値26.7%を下回っている状況にあります。このため、多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上、起業・創業に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図ります。(数値はH25実績)

【施策展開】

前年度の主な取組実績(平成28年度)

■ 多様な主体の連携促進

- ・オホーツク食の地域ブランド形成ネットワーク等を活用した情報提供(振興局)
- ・検討会や研修会を開催し6次産業化の制度や商品開発、食品加工の事例を紹介(振興局)

■ 付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進

- ・小麦の消費拡大等を目的として、管内の高校や大学と、菓子店が協働で地元客や観光客のおみやげとなるような新たなオホーツクスイーツの試作品を考案する開発プロジェクトを実施(振興局)
- ・起業化支援に向けた各種施策の情報提供(振興局)

■ 国内外への販路拡大

- ・オホーツクフェアの開催や代々木フェアへの出展により国内外への販路拡大を推進(振興局)
- ・水産物の消費拡大に向けたキャンペーンを展開(本庁・振興局・協議会・漁協)

今年度の主な取組(平成29年度)

■ 多様な主体の連携促進

- ・オホーツク食のブランド形成ネットワーク参画者の拡大に向けた、企業訪問等の実施(振興局)
- ・農業協同組合等の団体に向けた6次産業化の推進に関する検討会や研修会の実施(振興局)

■ 付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進

- ・管内の菓子店業者や関係者等と連携して農畜産物を使った新たな商品を開発し、オホーツク・ブランドを推進(振興局)
- ・JR石北本線の特急列車内におけるオホーツクスイーツの販売とPR(振興局、民間)
- ・創業サポート相談室における起業・創業の相談対応の実施(本庁・振興局)

■ 国内外への販路拡大

- ・北海道どさんこプラザの活用や、商談相談会の開催による国内外への販路拡大の推進(振興局)
- ・EU関係国内の水産物流通に係る研修会の開催(振興局)

今後の取組を進める上での主な課題

- 商品開発の推進に向けた補助金や助成金の活用
- オホーツクスイーツ等のオホーツク産高付加価値商品の更なる販路拡大
- 産学官金が連携した加工技術の開発
- 起業、創業に向けた支援措置の拡充
- 道内外で開催される商談会等への出展機会の増大
- 輸出手続きに関する事業者の理解向上
- 管内農水産物の消費拡大に向けた普及啓発

豊富な農水産物を活かした食関連産業振興プロジェクト

オホーツク連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

■多様な主体の連携促進

- ・オホーツク食の地域ブランド形成ネットワーク等を活用した情報提供の実施(振興局)
- ・6次産業化の制度や商品開発・食品加工事例紹介等を中心とした「6次産業化推進検討会」や「高付加価値化研修会」の開催(振興局)

■付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進

- ・オホーツクスイーツを含むオホーツク産農作物を使用した新商品の開発と販路拡大の促進(振興局)
- ・科学技術に関する地域懇談会の開催(本庁・振興局)
- ・起業、創業に対する支援措置の拡充に向けた起業応援マッチング交流会の開催(本庁・振興局)

■国内外への販路拡大

- ・道央圏でのオホーツクフェアの開催や首都圏での産品PRの機会が増大による国内外への販路拡大の推進(振興局)
- ・「今日はお魚！」キャンペーンの展開による、道内への魚の消費拡大の推進(本庁・振興局・漁協・系統団体等)
- ・事業者向けのインバウンド対応セミナーの開催(振興局)
- ・絵本等の食育教材の配付による、地場産品の利用促進や食品ロス削減に係る普及啓発の実施(本庁・振興局)

【KPIの状況】

	基準値 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
オホーツク産小麦使用の菓子店 舗数	14店 (H26)	35店 <進捗率> 70%	35店 <進捗率> 70%	35店 <進捗率> 70%		50店
農水産物を活かしたオホーツク 産品の延べ商談件数	(H27)	19件 <進捗率> 11%	45件 <進捗率> 36%	37件 <進捗率> 56%		延べ180件以上

地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

オホーツク連携地域

【概要・目的】

オホーツクは、知床世界自然遺産・流水をはじめとした優れた自然や、花・食・温泉など世界に誇る多様な観光資源を有しており、オホーツクAI活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、地域の資源を活かした体験型・滞在型観光の推進に取り組むなどして、外国人をはじめとした観光客の誘致を強化していきます。

さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致に取り組むほか、移住・定住の促進を図るなど、オホーツクへの来訪促進対策を総合的に展開していきます。

【施策展開】

前年度の主な取組実績（平成28年度）

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- 市町村連携によるオホーツク統一イメージの形成・発信プロジェクトの企画検討（振興局・市町村）

■ 体験型・滞在型観光の推進

- オホーツクスイーツ試食等によるマスコミや消費者への観光情報の発信（振興局）

■ 外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進

- 知床エコツアー推進に向けた英語や中国語による自然情報提供システムの構築（振興局）

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- 官民連携による閑散期における7人制ラグビーの大会の企画、実施（振興局）

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- 管内市町村の移住関連施策状況等の情報収集及び情報提供（振興局）

■ 空港の利用促進に向けた取組の推進

- 女満別空港の利用促進に向けた関東、関西地域における地域PRの実施（協議会）
- 紋別空港を利用した新たな旅行商品を首都圏の旅行会社において造成（市町村）

今年度の主な取組（平成29年度）

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- 市町村連携によるwebやSNS等を活用した大規模プロモーション事業の実施（振興局・市町村）

■ 体験型・滞在型観光の推進

- 誘客促進のため、道央圏で観光物産フェアを実施し、地域の食と観光をPR（振興局）

■ 外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進

- 自然ガイド向けの英語対応能力向上のためのテキストの配布（振興局）
- 空港協議会との連携による旅行者等への多言語マップの配布（振興局）

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- 障がい者スポーツの分野における合宿誘致に向けたPR活動の実施（振興局）

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- 管内自治体や関係機関と連携したプロモーション活動や移住・定住に関する情報発信（振興局）

■ 空港の利用促進に向けた取組の推進

- 管内空港の利用促進に向けた、航空会社の乗継キャンペーンにおける特産品の提供や、首都圏旅行会社への旅行商品造成の依頼及び商品拡大の支援（市町村、協議会）
- 女満別空港線を含む網走バスの主要路線が乗り放題になる「あばしりフリーパス」の発売（道、振興局、市町、民間）

今後の取組を進める上での主な課題

- ターゲットを明確にした大規模プロモーション事業の展開
- 冬期のサイクルツーリズムなどの体験型旅行商品の充実
- 魅力あるコンテンツの発信・拡散による、インバウンドの促進
- インバウンドの受け入れに向けた体制整備と人材育成
- 関係機関と協力した海外での観光情報の発信
- スポーツ合宿の誘致・定着に向けた地域ブランドの確立
- 新種目競技者や障がい者スポーツの受入れに向けてのニーズの把握
- 関係機関が連携した情報発信やプロモーションの強化
- 関東・関西・中部地区の旅行者やオホーツク地域住民などに対する、さらなる旅行需要の掘り起こし

地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

オホーツク連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- ・市町村と振興局との連携による、前年度実績を踏まえたより効果的な大規模プロモーション事業の実施（振興局・市町村）
- ・公式Twitterと他のSNSとの連携など、webをより活用した観光情報等の魅力の発信・拡散（振興局）
- ・首都圏等の富裕層をターゲットとしたプロモーションの実施（振興局）

■ 体験型・滞在型観光の推進

- ・ファットバイクや森林ツアーなど、関係団体と連携した体験・滞在型旅行商品の造成（振興局）
- ・インバウンドに向けた食・景観などの魅力的な地域資源の効果的な情報提供とPR（振興局）

■ 外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進

- ・DMO形成に向けたモデル事例となる取組への支援（振興局）
- ・SNSの活用やパンフレットの配布等による、国内外へのモデルルート情報の発信・拡散（振興局）

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- ・合宿チームへのオホーツクスイーツによる「おもてなし」の実施によるスポーツイベントや合宿の誘客強化（振興局）
- ・障がい者スポーツを含むスポーツ合宿誘致と定着に向けたPR活動の継続（振興局）

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- ・移住情報ポータルサイト運営に係る情報提供や、管内自治体や関係機関が連携したプロモーション活動（振興局）

■ 空港の利用促進に向けた取組の推進

- ・エアライン等を対象としたオホーツク地域へのファミトリップの実施（振興局）
- ・「あばしりフリーパス」の対象路線やクーポンの拡充など、観光客や地域住民の足の維持確保に向けた取組の推進（振興局）

地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

オホーツク連携地域

【KPIの状況】

	基準値 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	H32(目標年)
管内への観光入込客数	846.9万人 (H25)	871.7万人 ＜進捗率＞96%	835.6万人 ＜進捗率＞92%			907万人	
外国人宿泊者延数	7.9万人 (H25)	11.9万人 ＜進捗率＞48%	11.8万人 ＜進捗率＞47%			25万人	
オホーツク地域の知名度	71.8% (H26)	72.3% ＜進捗率＞85%	70.2% ＜進捗率＞83%	69.3% ＜進捗率＞82%			85%
管内の合宿実施件数	8,839人 293件 (H26)	9,865人 370件 ＜進捗率＞82% ＜進捗率＞93%	10,060人 394件 ＜進捗率＞84% ＜進捗率＞99%				12,000人 400件
スポーツツーリズムイベント実施数	0件 (H26)	0件 ＜進捗率＞0%	1件 ＜進捗率＞10%				10件
空港利用客数	80.3万人 (H26)	82.9万人 ＜進捗率＞75%	83.9万人 ＜進捗率＞76%	90万人 ＜進捗率＞82%			110万人